



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)8月5日号 No.1833

目次

■ 2030年までのロシア発展の国家目標	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 11
■ 統計速報	17
2020年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／17	
2020年1～6月の日ロ貿易／18	
■ エトセトラ	22
国交省によるシベリア鉄道輸送実証事業の募集／22	
■ トピックス	23
商船三井の砕氷LNG船初入港／23	
電通、ユーラシア市場で企業間の連携を推進／23	
アエロフロート、陰性証明の提出義務付け／23	
ロシア、新型コロナワクチン接種へ／23	
トルクメニスタン国鉄近代化のFS実施／23	
JAL、東京～モスクワ臨時便運航予定／24	
ジョージアに感染症対策支援／24	
アルメニアに対するアビガンの無償供与／24	
NIS諸国における新型コロナウイルス関連のニュース／24	

2030年までのロシア発展の国家目標

はじめに

7月21日、プーチン・ロシア大統領は大統領令「2030年までのロシア連邦発展の国家目標」に署名した。2018年5月に発足した第4期プーチン政権によるこれまでの国家目標は、同年5月7日の大統領令「2024年までのロシア連邦発展の国家目標と戦略的課題」で発表され、ロシア政府の基本政策、ナショナルプロジェクトをはじめとする各種の戦略文書は、この大統領令の内容を基礎として策定されてきた(2018年5月7日付大統領令に関しては、『ロシアNIS経済速報』2018年5月15日号に全文の翻訳を掲載)。

だが、今回紹介する新たな大統領令が公布されたことによって、ロシア政府の基本政策や各種の戦略文書の目標達成期間は2024年から2030年に延長され、その内容も今回の大統領令に沿って修正されることとなる。例えば、ミシュスチン首相は、すでに12のナショナルプロジェクトと「基幹インフラ近代化・拡張計画」の修正を10月30日までに終えるよう各省庁に指令している。

今回の大統領令の特徴としては、①2018年5月の大統領令では9つあった国家目標が今回は5